



国民の森林・国有林

林野庁
中部森林管理局

〒380-8575 長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

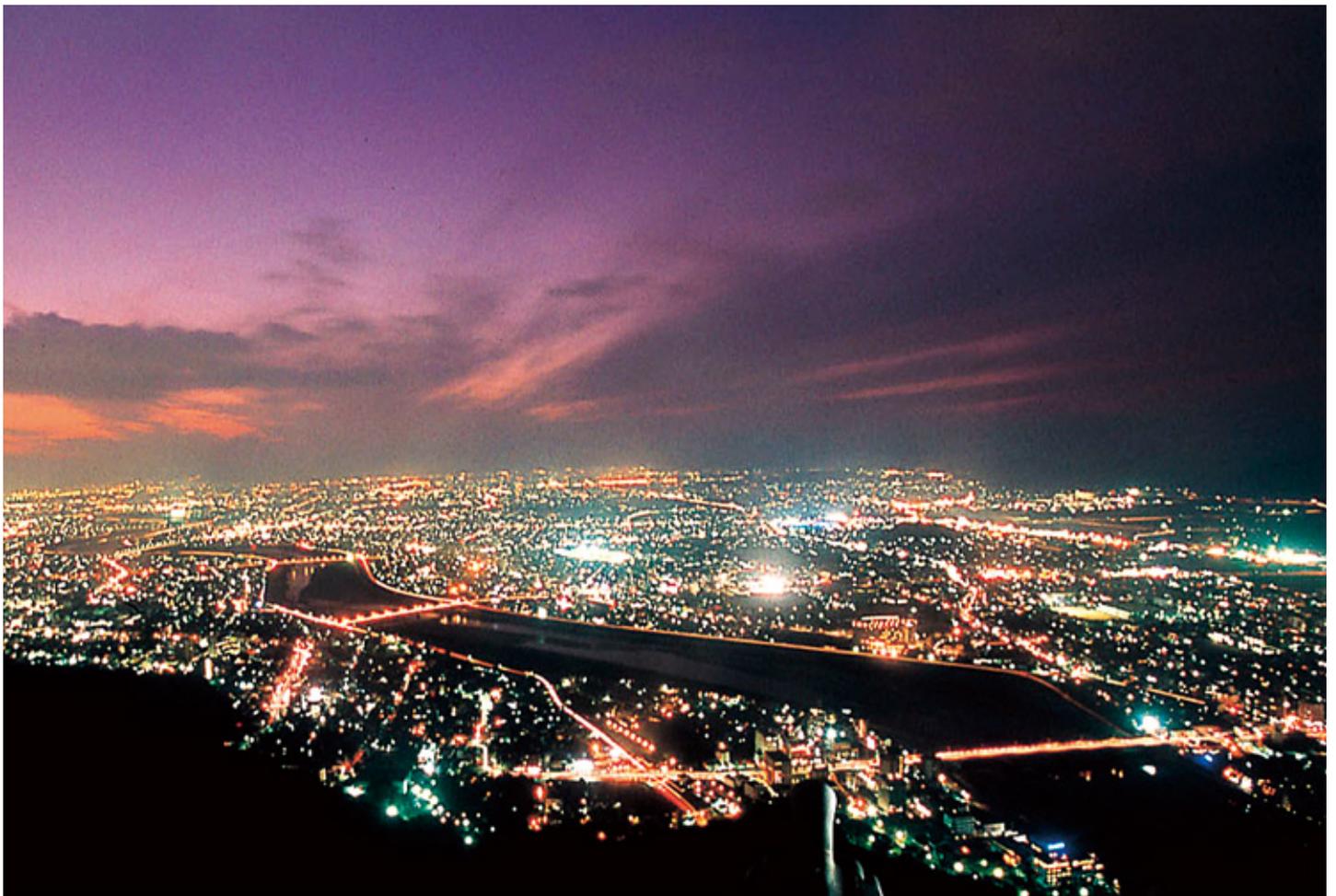
広報

中部の森林



12月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



12月の見どころ聴きどころ⑱「岐阜城パノラマ夜景」(岐阜市役所提供)

主な項目	○ 本局のトピックス (台風第19号災害からの復旧に向けた対応～ほか) …………… P 1
	○ 各地からのたより (「公共事業予算等に関する地方連絡会」で治山事業地案内～ほか) …… P 4
	シリーズ「ご当地自慢」(南信森林管理署「陣馬形山」) …………… P 9
	森林のお仕事紹介コーナー
	☆「森林官からの便り」(東濃森林管理署 上矢作治山事業所) …………… P10
	☆「森林・林業界からの便り」(恵南森林組合) …………… P11
	☆「林業土木業界からの便り」(株式会社 高宮組) …………… P12
○ 1月の見どころ聴きどころ …………… P13	

〈本局のトピックス〉

台風第十九号災害からの

復旧に向けた対応

【企画調整課・治山課・森林整備課】

台風第十九号災害については、災害発生直後から、局緊急自然災害対策本部の下で、被害調査と災害からの早期復旧に向けた対応を進めています。

今後、いつでも起こり得る自然災害に対し、国民の皆様の命や生活の安全を確保することが求められているなか、令和元年十二月五日に閣議決定された「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」においては、水害対策を中心とした防災・減災、国土強靱化の取組を更に強化するため、森林等のインフラの強靱化を速やかに進めること等が盛り込まれました。

また、この対策に基づく令和元年度補正予算案が十二月十三日に閣議決定され、林野関係では、森林整備事業及び治山事業に三九一億円、山林施設災害復旧等事業に二一五億円等が措置されています。同補正予算案は、来年一月に開会する通常国会で審議され

る予定です。

中部森林管理局では、台風第十九号災害復旧事業及び補正予算に伴う事業を円滑に実施する観点から、ホームページに「発注見通し等」を準備が整ったものから随時掲載することとしています。

地域住民の皆様の安全・安心のために、森林の早期復旧を速やかに進めていく考えです。（発注見通し等については、公表した後に変更または追加する場合があります。また、公表した工事の内容は、予算が成立することを前提としたものであり、予算成立後、発注する工事と内容が異なる場合があります。）

※発注見通し等については、下のQRコードを読み込んでください



東信森林管理署職員による被害状況の調査（高峰国有林）

（参考）令和元年台風第19号による主な被害状況

【山地災害】

番号	署等名	市町村名	国有林名等	被災内容
1	東信森林管理署	長野県小諸市	高峰	山腹崩壊
2	東信森林管理署	長野県上田市	角間山	山腹崩壊
3	東信森林管理署	長野県南佐久郡南相木村	南相木山	山腹崩壊
4	南信森林管理署	長野県伊那市	黒河内	山腹崩壊
5	伊那谷総合治山事業所	長野県下伊那郡大鹿村	鹿塩	山腹崩壊

【林道被害】

番号	署等名	市町村名	林道名	被災内容
1	北信森林管理署	長野県上水内郡信濃町	殿沢林道	路肩決壊
2	北信森林管理署	長野県下水内郡栄村	五宝木林道	路肩決壊
3	東信森林管理署	長野県小県郡長和町	大門窪城林道	路肩決壊
4	東信森林管理署	長野県小県郡長和町	大門東支線林道	路体流出
5	東信森林管理署	長野県小県郡長和町	大門東林道	法面崩壊
6	南信森林管理署	長野県伊那市	黒河内林道1	路肩決壊
7	南信森林管理署	長野県伊那市	黒河内林道2	路体流出

※発注見通しではありません。

「大嘗宮」の部材に東信産の
カラマツ皮付き丸太を供給

【東信森林管理署・資源活用課】

十一月十四日・十五日、皇位継承重要祭祀「大嘗祭」の中心的儀式「大嘗宮の儀」が、皇居・東御苑に特設された大嘗宮で行われ、大嘗宮（廻立殿、悠紀殿、主基殿）の主要部材として、東信森林管理署（軽井沢町の国有林）から生産されたカラマツの皮付き丸太千百本が使用されました。

丸太供給に当たっては、良質な皮付きの状態を維持するため、冬期に伐採し、人の手で玉切りしたり、林道までの搬出や保管場所までの移動は緩衝材を用い樹皮を痛めないよう細心の注意を払う作業となりました。



完成した大嘗宮（主基殿等）

【供給数量等】

樹種 カラマツ（皮付き丸太）
径級 十二センチメートル～三十六センチメートル
長級 三・〇メートル～六・〇メートル
本数 千百本

【生産地】

長野県軽井沢町の国有林

【使用場所】

大嘗宮（廻立殿、悠紀殿、主基殿）

【供給経過】

・生産期間 H30・10～H31・3（請負生産）
・選木作業と養生管理
H30・10～R1・6（東信森林管理署）



【写真上】チェーンソーで指定の太さに調整



【写真左】丸太の損傷防止のためのスリングベルトや緩衝材を使用



【写真右】丸太を選木する様子

【写真左】曲がりや節の状況、皮むけや目まわり等の欠点を細かく確認



フォワーダに緩衝材を装着し樹皮損傷を防止した運搬の様子



引き渡された丸太の積み込みの様子



遮光シートで保護し養生する様子

東信森林管理署では、供給予定量の約三倍の三千本弱の丸太を生産し、職員総出で選木作業や養生管理に取り組み、令和元年六月に無事引き渡しを行いました。
今回の伐採、搬出作業に当たり、佐久森林組合様、(株)吉本様のご尽力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

〈本局のトピックス〉

国有林野の所在する市町村長と の連絡協議会を開催

【企画調整課】

十一月二十八日、中部森林管理局の大会議室で、管内の十地区のうち七地区から代表の市町村長のご出席を賜り、「国有林野等所在市町村長有志協議会」（以下、「有志協」）の連絡協議会を開催しました。

有志協は、地域社会と国有林野事業の連帯強化を図るために、昭和五十二年以降に設置したものです。

林野庁から出席した織田国有林野部長と安高森林集積推進室長より、林政の最近の動向について説明を行うとともに、代表市町村長等からは、持続可能な森林資源を活用する地域独自の取組及び山村地域におけるエネルギーの自給自足に向けた取組や、木の文化を支えるための国有林の利活用、林業の後継者不足への対応など活発な意見が出されました。

また、今年度から開始した森林経営管理制度や森林環境譲与税の



国有林野等所在市町村長有志協議会の様子

使途や譲与基準に関する意見とともに、台風第十九号で被災した林道等の早期復旧など要望が多く寄せられました。

最後には、森林の有する多面的機能の持続的な発揮や林業の成長産業化の実現に向けた取組を、有志協のネットワークを活用しながら、代表市町村間で連携して進めていくことで一致しました。

令和改元記念植樹を実施

「三つの願いを込めて」

【経理課】

十一月二十五日、本局職員による令和改元記念植樹を局庁舎中庭において実施しました。

これは、庁舎敷地内の庭木の整備を行う一環として新たな花木の植栽を行ったもので、今年は元号が改元された記念すべき年であり、天皇陛下の即位に伴う種々の行事が行われていることに併せ実施したものです。

植樹に当たり吉村局長より、三つの願い「①林業の成長産業化等へ向けた国有林の使命達成、②台風十九号災害からの復興、③職員の健康と安全の確保」を込めて植えてほしいとの挨拶があり、本局職員一三五名が参加し、コヒガンザクラ、ハナモモそれぞれ、二本を丁寧に植樹しました。

当日は、雨が落ちそうな曇り空でしたが、職員のはつらつとした笑顔により晴天下のような明るい空気に包まれていました。

今回植樹したコヒガンザクラや



植樹後の記念撮影の様子

ハナモモが大きく育ち、綺麗な花を咲かせ、職員だけでなく周囲の住民の皆様にも楽しんでいただければと願っています。

「公共事業予算等に関する
地方連絡会」で治山事業地案内

【伊那谷総合治山事業所】

十一月二十七日、関東財務局による公共事業予算等に関する令和元年度第二回地方連絡会（分会）が、松川入地区民有林直轄地山事業を対象として開催され、理財部主計第二課の担当者三名が当所の新事務所及び現地において、事業の概要について聞き取り調査を実施し、局企画調整課及び治山課の担当者とともに、当所職員が説明や現地案内を行いました。



砂小谷（小西川）復旧治山工事



篝沢（小膳沢）復旧治山工事

午前中は、事業内容や進捗状況の聞き取り、今後の事業見通しや期中評価の結果について説明を行いました。

午後からは松川入地区の現場へ移動し、山腹工復旧箇所を対岸から遠望しながら、当所職員が治山工事の進め方や工種毎の目的等の説明を行い、当年度の山腹工事や前年度施工箇所の復旧状況について、現地を見ながら質問等の応答を行いました。

関東財務局の担当者からは「治山事業による森林の復旧過程が理解できた」、「急峻な現場での工事施工に感心した」などの感想が述べられ、治山事業の重要性について理解を深めていただきました。

木曾の国有林見学会（秋季）
を開催

【木曾森林ふれあい推進センター・
名古屋事務所】

十月二十九日、赤沢自然休養林において、木曾川下流域の方々に木曾地域の林業の歩み、木材輸送、名古屋市熱田区の白鳥野木場にたどり着くまでの運材技術の変遷や木材の出材地について、「四百年の歴史」を体感し、森林とふれあっていたりたくことを目的に見学会を開催したところ、名古屋市内を中心に四十名の方に参加いただきました。



歩道を散策する参加者

当日は、雨天の中、職員の案内で、歴史とともに育まれてきた樹齢三百年余りの木曾ヒノキやサワラが生い茂る林内を散策し、木曾の林業の歴史や運材方法、伊勢神

宮との関わり、木曾五木（ヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキ）の樹種の見分け方や特徴などを学びながら、約二時間の森林散策を満喫しました。

参加者からは、「参加して良かった」、「引き続き継続を望む」との意見とともに、「事前学習会もあり勉強になりました」、「今度は良い天気になりました」、「今度は」と感想も得られました。

なお、この催しは、木曾復興支援の取組としても位置づけており、今後も参加者のご意見をとりえ、より意義のある催しとなるよう努めてまいります。



ヒノキ大樹の説明を聞く参加者

〈各地からのたより〉



国有林の取組を説明している様子

十月三十日、概要を説明後、林内に入りニホンジカによる被害を防ぐため、植栽木を一本ずつ「防鹿ネット」で保護する管理手法と、将来の御柱の候補木であるモミの大きさに一同驚いた様子でした。

JICAミャンマー研修

「持続可能な自然資源管理及び

総合流域管理に係る研修」

【南信森林管理署】

ミャンマー内陸部のインレー湖の環境悪化に伴う水質汚染等の改善のため、諏訪湖で行われている各種取組を生かす目的で、ミャンマー天然資源環境保全省森林局の高官、研究者ら六名が来日されました。



自国の取組を発表するミャンマー高官

三十一日は「まちなか案内人」の説明による諏訪大社及び諏訪湖環境保全の取組等の視察が行われ、午後からは諏訪市内において、両国の関係者が「ミャンマー・インレー湖に関する発表」、「諏訪湖保全再生に関する発表」、「諏訪湖上流域の森林管理に関する発表」や意見交換会を行いました。

ミャンマーでも「国民、行政が一体となった諏訪湖周辺での各種取組事例を参考にインレー湖の環境悪化に伴う水質改善に生かしていきたい」と表明がありました。

民国連携現地研修会の開催

【飛騨森林管理署】

十月三十日、高山市庄川町一色地域において『高山市一色・山中山地域共同施業団地』の関係機関を対象に現地研修会を開催しました。

最初に一色国有林現場では、今年度実行している生産事業において、列状間伐実行箇所を視察し、請負者の白鳥林工から事業実行した上での現場サイドから長所・短所について説明されました。



国有林の列状間伐実行箇所の視察

協定関係者からは、「植栽列で実行したことはあるが、一定の距離ごとに列間隔を決め、間伐実行はしたことがない」、「低コストで搬出可能である」、「自社のハーベスタは、現場でどのように活用されているのか」、「伐倒木は、どのように搬出したか」といった感想や質問が出されました。

次に民有林での作業路の作設現場では、請負者の飛騨高山森林組合から現場で作設するに当たっての注意点、今後の施業計画、路網計画などが説明されました。

参加者からは、作業道作設における補助金制度活用方法、路網密度の設定など、工事への関心の高さが伺える意見も多く出されました。

今回の研修会では、それぞれの機関で森林整備を進める中で、技術・情報交換ができました。

今後も、民国連携による研修会等を通じて情報交換を行うことにより、効率的・効果的な林業技術の向上と情報発信に努めていきたいと考えています。

〈各地からのたより〉

十八年目を迎えた 漁民の森林づくり活動を開催

【愛知森林管理事務所】

十月一日、設楽町段戸国有林において、漁民の森づくり活動を行いました。今年度で十八年目を迎えるこの活動は、三河湾の漁業者によるもので、川上の森林を守り育てることは、その森林からの栄養分が豊川、矢作川を流れ、三河湾へと注ぎこみ、海藻や魚介類の生育を促進することにつながるといふことから始められたものです。昨年は台風等の影響で中止となりましたが、今年度は秋晴れの下の、蒲郡漁業協同組合青年部の下、三谷水産高校の生徒ら、七十四名が活動に参加しました。



除伐作業の様子

今年度からは漁業関係の先輩と後輩が一つとなる意味合いも込めて、漁協青年部と生徒が同じ班で除伐作業を行いました。

作業後、参加者からは、「もっと除伐したかった」、「山での作業は初めてですが、木を伐るのは楽しかった」などの声も聞かれました。

当所ではこの活動を通じて、川上と川下との関係強化や若者の森林・林業への理解が広がることを期待し、今後とも継続していきたくと考えています。



作業終了後の記念撮影

恵那農高 枝打ち体験

【東濃森林管理署】

十一月十三日、岐阜県立恵那農業高等学校環境科学科の一年生三十五名が、中津川市阿木恵那国有林で枝打ち作業の体験を行いました。

この取組は岐阜県の「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、林業体験活動や自然体験活動などを「緑と水の子供会議」として毎年実施しています。



職員からの安全上の説明の様子



枝打ち体験の様子

最初に、当署職員が枝打ちの目的や作業の仕方及び安全上の注意点について説明したのちに、五班に分かれ、当署職員と県恵那農林事務所職員の指導のもと枝打ち作業を体験しました。

生徒たちには、足元の悪い急斜面での枝打ち作業でしたが、真剣に取り組んでいたため、無事に作業を終了することができました。

今回体験をした生徒の中から、将来、林業に関心を持ち、新しい担い手が育つことを期待しています。

《各地からのたより》

「森・ふれあいフェスタ

2019」を開催

【木曾森林ふれあい推進センター】

十月二十五日、二十六日の二日間、昨年度と同じく北安曇郡松川村内の「リンリンパーク」において、一般市民の皆さんに、国民参加の森林づくりへの理解や森林環境教育の重要性をPRすることを目的に「森林ボランティア・NPO連携推進会議」が、ボランティア団体代表による実行委員会の主催、中部森林管理局の後援で、開催されました。

一日目には、園内の野外ステーションで、ワークショップ等で初対面の人同士が出会う時、その緊張をほぐすための手法の一つ、アイスブレイクを参加者全員で実践し見識を広めました。



ヒノキのカンナくずプールで楽しむ子供達



ミニイス作りを楽しむ参加者達

二日目は松川村役場に隣接したリンリンパークで「森・ふれあいフェスタ」が開催されました。

当日は松川村の「村制百三〇周年」のイベント行事も開催されており、ミニイス作りや木工細工などの八個のブースを併設し、訪れた一般市民約二九〇名の方々は、様々な体験を楽しんでいました。

多くの親子連れの方々からは、「楽しかった」、「うまく作れた」といった声が聞かれました。

また、参加したボランティア団体の皆さんにとっても、二日間を通して充実した連携・交流の場となりました。

秋の付知の自然を満喫

「つけちハツラツウオーキング」

【東濃森林管理署】

十月二十六日、NPOつけちスポーツクラブ、付知スポーツレクリエーション祭実行委員会主催、当署の後援で、「令和元年つけちハツラツウオーキング」が加子母裏木曾国有林で開催され、約三十名が参加しました。ウオーキングでは、付知町の付知B&G海洋センターをマイクロボスで出発し、渡合温泉から木曾越峠まで約四キロの初心者向けコースと、約六キロの健脚向けコースにそれぞれ別れて行われました。



ウォーキングを楽しむ参加者達



ウォーキング後の記念撮影

木曾越峠は今から約九〇〇年前に、木曾義仲が木曾から美濃へ越えたという伝説に由来し、江戸期寛政年間（一七八九年頃）から、御嶽登山道として、御嶽講の行者や信者らによって利用されてきたといわれています。

秋晴れに恵まれた紅葉の中での散策は、御嶽山や小秀山、井出小路山も遠望することができ、参加者の皆さんは、秋の自然を満喫されていました。

今後も、レクリエーションの森の活用を通じて、地域の活動の支援を行っていくこととしています。

〈各地からのたより〉

「クアの道」に認定

【岐阜森林管理署】

「日本美しの森 お薦め国有林」に選定されている金華山国有林は、これまで森林レクリエーションや森林環境教育の場として多くの方々に利用していただいています。

このたび、新たに、金華山国有林とその周辺一帯を巡る「クアオルト健康ウォーキング」のコースが整備され、令和元年十月二十六日、日本クアオルト研究所から「クアの道」として認定を受けました。（全コースのうち、金華山山頂の遊歩道が国有林）



「クアの道」として認定を受け金華山山頂の遊歩道の様子

このウォーキングコースは、健康づくりに加え、岐阜市ならではの景観や豊かな自然を楽しめるコースとして多くの方々の利用が見込まれており、利用の幅が広がることにより、地域振興につながるものとして期待されています。

なお、岐阜市内では同時に「百々ヶ峰・ながら川ふれあいの森コース」も一緒に認定を受けました。

※クアオルト健康ウォーキングとはドイツ語で「クアオルト」とは健康保養地や療養地を意味します。これを語源に、心筋梗塞や狭心症のリハビリ、高血圧、骨粗しょう症などの治療として行われている運動療法を基に、身体にあまり負荷をかけないように、チェックポイントで心拍数（目安は160から自分の年齢を引いた心拍数）の計測を行いながら行うウォーキングで、日本で考案されたものです。



岐阜市発行のマップ

有事に備えて

山岳救助訓練に参加

【岐阜森林管理署】

十一月十八日、下呂市消防本部主催の山岳救助訓練が、岐阜県下呂市と長野県王滝村県境の国有林にある、白草山（標高一、六四〇メートル）で行われました。

今回の訓練は、御嶽山噴火災害後、市消防本部に設置された山岳救助隊の救助技術向上と関係機関の連携強化を目的に、初めての訓練として行われ、下呂市消防本部、岐阜県防災航空隊、乗政DV C（ボランティア団体）、南ひだ森林組合、岐阜森林管理署が参加しました。



山岳救助訓練の様子

当日は、「登山者が下山途中に転倒、負傷し動けない」状況という想定で行われ、当署職員が黒谷林道ゲートを解錠し、捜索地上部隊を林道終点まで案内しました。

その後、捜索隊は、航空隊と共に負傷者を捜索発見、負傷者を天空の開けた場所まで搬送するとともに、防災ヘリコプターによりピックアップ搬送するという訓練を行いました。



防災ヘリコプターでの訓練の様子

今後も、有事に備え、地域の消防署及び森林・林業関係者と連携を強化するとともに、山岳救助訓練に積極的に参画していくことが大切と考えています。



長野県南部、中川村の北端に位置し、天竜水系県立自然公園に指定されている陣馬形山は、気軽に眺望が楽しめる、自然と触れ合える里山として地元の方はもとより、訪れる大勢の人に愛されてきました。

標高は、一、四四五メートルと、長野県の中では、決して高い山ではありませんが、山頂からの眺望に優れ、中央アルプス、南アルプスの山並みが目の前に広がり、眼下には南北に走る天竜川が帯のように流れ、その両岸の辰野町から飯田市に及ぶ伊那谷が一望され、伊那谷随一の景観と称されています。また、その昔、戦国時代には武田信玄の狼煙台として軍事的な情報伝達手段などに使用されたと言われています。



山頂より中央アルプスと伊那盆地を望む

山頂付近には、戦前から活用されている広さ八千平方メートルのキャンプスペースがあり、眺望の良さから「天空のキャンプ場」として知られています。



山頂付近の様子

近年のキャンプブーム、SNSの急激な発達や人気アニメの舞台となったことにより、来訪者が急増し、冬季を除く休日には県内外から大勢のキャンパーで賑わうことから、中川村では、トイレの水洗化を始めとした施設の整備を進めるとともに、来訪者の誰もが安全且つ快適に利用できるようなルールづくりとマナーの普及にも力を入れています。



冬季でも利用者があ
るキャンプ場

山頂のキャンプ場まで車道が整備されており、二十台程度の車が止められる駐車場もありますので、天気の良い日には是非お立ち寄りいただき、絶景のパノラマを堪能されてみてはいかがでしょうか。

◆所在地…長野県上伊那郡中川村 大草

◆アクセス

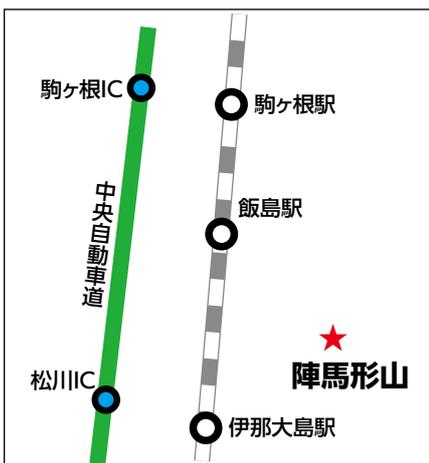
【公共交通】

JR飯田線伊那大島駅・JR飯田線飯島駅からタクシーで四十五分

【自動車】中央自動車道

・松川ICから二十一キロメートル車で五十分

・駒ヶ根ICから二十九キロメートル車で六十分



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。

そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



【東濃森林管理署 上矢作治山事業所】

治山技術官 菅野 暢晃

上矢作治山事業所は、岐阜県恵那市岩村町内に所在し、同県恵那市の上村恵那・岩村・明知・串原、瑞浪市の小里の、五つの国有林内の治山事業を担当し、現在は、主に上村恵那国有林を中心に治山事業を行っています。

この地域は、日本百名山の一つ恵那山の南西に位置し、地質は伊奈川花崗岩が主体で、花崗岩が風化した砂状の土壌が「マサ土」と呼ばれています。マサ土は一定の形を保っていますが、粒子同士の結合力が弱く崩れやすい性質のため、一度崩壊すると土砂流出しやすく、自然復旧が難しい土質です。

平成十二年には「恵南豪雨災害」により、国有林を含む多くの山に被害が発生しましたが、その原因の一つが「マサ土」とされています。

また、近年ニホンジカによる食害の被害も多く発生しています。植物の新芽を食べられることにより植生が衰退し、地山の再崩壊を招くことが懸念されることから、本年度、次の二点について新たな試験的取組を行いました。

- ① マサ土対策にL型筋工を導入。
- ② ニホンジカ等による食害対策として獣害防護柵の設置。

L型筋工は、これまでの工法よりも丸太同士の隙間が狭く土砂が流出しにくいことと、コの字型の



L型筋工 組立状況

鉄筋に丸太を通して積み固定するため、作業時間の短縮が可能で



獣害防護柵 施工状況

獣害防護柵は、通常の支柱に加え樹木を支柱代わりに使用することから、支柱の本数を少なくすることが出来ます。

施工について受注者からは、「L型筋工では、鉄筋に丸太を通して設置するため、従来の丸太筋工よりも作業時間は短縮できる」、「L型筋工は斜めに鉄板を通すため、これまでより力がある」、「獣害防護柵で使用するネットの継目の縫い合わせに時間が掛かるが、設置自体は、なれば早くできる」等、意見がありました。



治山ダムの出来型確認中の筆者

今回の施工結果も踏まえ、L型筋工及び獣害防護柵について改良を行いながら、今後もマサ土対策やシカ等の対策を行い、山地災害から地域の皆さんの生命・財産を守るため、治山事業を進めて参ります。

■未来の担い手へのメッセージ
国有林の治山工事は、山の奥地での作業も多く、一般の方が直接見ることが少なく、「治山」という言葉を知らない方も多いと思います。
近年、異常気象による災害が多発していることから、防災・減災の観点からも、治山事業は大変重要です。皆さんも一緒に取り組んでいきませんか。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



けいなん
恵南森林組合

きくかわ しゅんすけ
菊川 俊輔

(二〇一八年入社)



ラジコンキャリア
集材中の筆者

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業
(保育間伐活用型 上村恵那3)

発注者・東濃森林管理署

事業地は岐阜県恵那市の上村恵那国有林で、保育間伐面積三五・一四ヘクタ、素材生産量二千二百立方メートルの請負事業です。架線七線、森林作業路新設八路線の計画。六

人のチームで工期は約十ヶ月です。

事業地の主たる植栽木はヒノキで、林齢三十五年生から五十六年生までの比較的若い木が全体の約九〇%を占めています。昨今の課題である生産性の向上と、今後の育成の為の丁寧な作業との両立が課題となる現場です。

■現場での役割・魅力

今回は特に架線の本数が多く、先輩について学ぶところが多く、朝、身支度をしながら段取りの話をしませんが、日々条件が違うので、基礎的な安全管理を忘れず、かつ効率よくできるよう、イメージを持つよう心掛けています。



タワーヤード集材機の前の筆者

タワーヤードによる簡易な架線ですが、張り上げるまでにはいろんな工程があり、繰り返すことで一連のパターンが身に付いてきました。

伐倒した材が重なり出しづらく、もどかしい時もありますが、調子よく機械が動き、材がどんどん出てくる時は嬉しく、達成感があります。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ
映画「ウッド・ジョブ」を観たのがきっかけです。林業って過酷だけど面白そう。大きい木を伐つてみたいとシンブルに思いました。

前は、動物園でキリンの飼育員や、各地の牧場に向向して牛の爪を切る仕事をしていました。もともと動物や、自然と関わっていたい思いがあります。山で仕事しているといろんな動物に出会うのも楽しみの一つですが、つい最近では架設の作業中に、三十センチ位の熊が横切っていくのを目撃しました。いろんな危険と隣り合わせの仕事ですが、やらされるのではな

く自分で考え、日々いろんな経験が積み重なっていくのはこの仕事の魅力だと思います。

■未来の担い手へのメッセージ
私もまだ日が浅く、やっと少し周りが見えてきたような段階ですが、人手不足は切実に感じます。

向き、不向きもあつて、誰でもできる仕事ではないと思いますがその分、希少価値のあるプロになれるし、収入的にも見込めると思っています。将来、一緒にやっつけていける仲間が増えるといいです。興味のある方には是非、体験してみることをお勧めします。



大径木の伐倒にチャレンジ (去年)

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

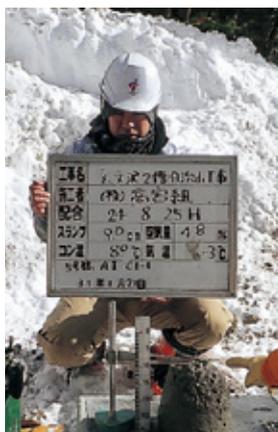
「林業土木業界からの便り」



株式会社 高宮組

丸山 真悟

(二〇〇七年入社)



■事業の概要

請負事業：玄文沢2復旧

治山工事

発注者：中信森林管理署

本工事は、松本市安曇上高地における山間の土石流及び河床の洗掘を防ぐ河川工事となります。

工事内容として、木工沈床工・護岸工・帯工の施工を実施しました。



山間地帯の気象変動は激しく、吹雪の中作業の様子

■現場での役割、魅力

当現場において、主任技術者兼、現場代理人として担当しました。役割としては、現地踏査を踏まえ施工計画の立案（工程・安全・出来形・品質管理等）を行い図面に基づき、構造物の施工管理を経て完成となります。コンクリート構造物は管理方法によって品質に大きく影響する為、冬季施工における品質管理には特に気を配りました。施工管理は気象条件や作業環境に左右されることが多く大変な仕事です。ですが、やりがい・達成感という意味では魅力的な仕事といえるかもしれません。

また、今回工事を行った場所は有名な観光地でもあり、山々の景観はとても綺麗な場所です。一般の人が普段足を踏み入れない場所で作業ができるというのも、この職業ならではの特権だと思います。



完成した治山運搬路の木橋

■林業土木の世界に

入ったきっかけ

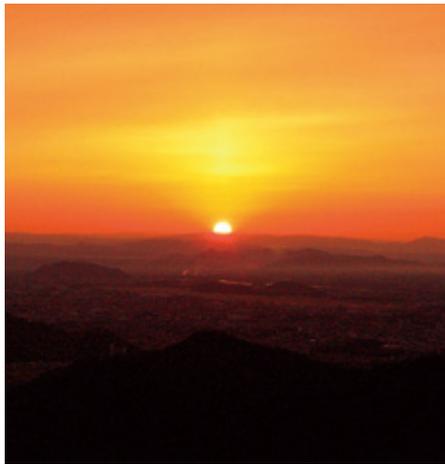
私は、昔から屋外での遊びやスポーツが好きで、仕事も体を動かす職に就きたいと思っていました。その中で建設業という職種に出会い現在に至っております。入社から早、十二年となり決して若手とは呼べませんが、まだまだ学ぶべきことは多く、失敗も沢山あります。ですが失敗も経験の一つと考えこれからも努力を惜しまず頑張っていきたいと思えます。



完成した、河床の洗掘防止のための木工沈床工の様子

■未来の担い手へのメッセージ
林業土木という職種においての現場作業は、『こうしなきヤダメだ』というマニユアルはありませぬ。技術者本人若しくは、みんな考えた方針で現場を進めていくということが出来るため、ある意味自由に仕事をする事ができます。（安衛則等の法令順守は除く）
また自身で作りに上げた構造物が一生の物として残っていくと同時に地域への支えとなって貢献できる職業です。

あまり難しく考えず、技術者・職人として一歩踏み出してみませんか。



① 1日 岐阜城からの初日の出
 (岐阜署 岐阜市)
 元日のみ、朝五時からロープウェイは運行します。(山頂の天守閣は六時三〇分開城) 斎藤道三や織田信長など、有名な戦国時代の武将も城主として名を連ねた名城から、新年の幕開けとなる初日の出を望むことができます。元日特典、先着順で干支の土鈴プレゼントもあります。お問い合わせ…岐阜市観光コンベンション課

1月の見聞
 聴きまじ
 魅力イッパイ国有林

上旬

② 6日 六日祭(花奪い祭り)

(岐阜署 郡上市)

白山を霊峰とし全国各地に分布する「白山神社」の中心的神社である長滝白山神社で「六日祭」が行われます。この祭りは勇壮な「花奪い」が行われるため、「花奪い祭り」とも呼ばれます。「花奪い」とは、拝殿の高さ六尺の天井に吊るされた五つの大きな花笠を人梯子を組んで奪い合うもので、この花を持ち帰ると、豊蚕、豊作、家内安全、商売繁盛になるといわれています。(国重要無形民俗文化財)
 お問い合わせ…白鳥観光協会

③ 上旬(乗鞍高原の水瀑「善五郎の滝」)

(中信署 松本市)

乗鞍観光センターより上部へ約一キロメートルの場所にあり、落差二十メートルの水瀑は、普段では入れないところまで近づくことができますが、天候により水瀑に亀裂や滝壺にクレパスができますので十分ご注意ください。
 お問い合わせ…のりくら高原観光案内所

④ 上旬(乗鞍高原の水瀑「三本滝」)

(中信署 松本市)

Mt.乗鞍スノーリゾート(スキー場)、夢の平クワッドリフト降場から往復約一時間三十分の場所にあり、落差は約六十メートル。積雪量が多く雪に埋もれてしまします。三種類の水瀑が見られますが、途中で、危険な箇所もありますので初めての方はガイド付きで行ってください。

お問い合わせ…のりくら高原観光案内所

中旬

⑤ 11日「麒麟がくる 岐阜大河ドラマ館」

オープン (岐阜署 岐阜市)

金華山国有林の麓にある岐阜市歴史博物館では、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始に合わせ「麒麟がくる 岐阜大河ドラマ館」が開設されます。登場する衣装や小道具などの展示や所蔵品を活用した戦国時代の歴史展示が行われます。
 お問い合わせ…麒麟がくる 岐阜大河ドラマ館 入場券販売管理センター



⑥ 12日 ホリデー森歩き入門(一月)

(愛知所 尾張旭市)

森の中を楽しみながら歩こう！自然の中、花・鳥・虫などを観察しながら歩く。ベテランの自然観察指導員の方がガイドしてくれる。予約不要、参加費無料。別途植物園入園料が必要。
 お問い合わせ…愛知県森林公園 案内所

⑦ 15日 野沢温泉道祖神祭り

(北信署 野沢温泉村)

日本三大火祭りの一つとして、毎年一月十五日に行われ、村人と厄年の男たちとの「火の攻防戦」は迫力満点です。このお祭りは、江戸時代後期から継承され、競技的かつ美的、全村一致団結の信仰的行事として、国の重要無形民俗文化財に指定されています。
 お問い合わせ…野沢温泉観光協会



⑧ 18日 冬の神秘を探せ

(北信署 飯山市)

スノーシュー初心者あなたへ。冬の神秘をガイドと一緒に見つけよう。植物の冬芽や雪の結晶などを観察しながらゆるりと。準備ができたなら、ブナの森や大草原で動物の足跡を探しに行こう。
 お問い合わせ…信州いいやま観光局「森の家」

下旬

⑨ 24日(かまくら祭り)

(北信署 飯山市)

雪国飯山の真っ白な雪原に、大きなかまくらが、二十基以上も並ぶ「かまくらの里」、毎年一月下旬から二月末までの

期間中、かまくらの中でおいしい鍋が食べられる「レストランかまくら村」や「かまくら祭り」が開催されます。また、夜は明かりが灯され、幻想的な雰囲気がある素敵です。



⑩ 25日 どうぶつのおしあつとを探せ

(北信署 飯山市)

スノーシューでふわふわの雪の上をホップステップジャンプ！スタッフがスノーシューの履き方・歩き方を丁寧に伝えます。

お問い合わせ…信州いいやま観光局「森の家」

⑪ 30日～31日 中部森林技術交流発表会

(中部森林管理局 長野市)

国有林及び民有林の行政機関、大学・高校、林業事業体等が、日頃から行っている森林・林業に関する試験研究、技術開発、森林保全などの取組を発表し、技術・知識の共有及び情報交換と、成果の普及、森林・林業の発展を目的に中部森林技術交流発表会を開催します。

お問い合わせ…中部森林管理局技術普及課

お知らせ

令和2・3年度 国有林の管理経営に関するモニター募集について

【企画調整課】

中部森林管理局では、令和2・3年度の「国有林モニター」を募集しています。

「国有林モニター」制度は、管内4県（富山、長野、岐阜、愛知）にお住まいの皆様は、国有林が果たしている役割や現状を御理解いただくとともに、国有林に対する御意見等を直接伺い、今後の管理経営に役立てていく取組の一つです。

募集人数…二十名

依頼期間…二年間

依頼内容…①アンケート調査への回答

②御意見、御要望等の提出 ③モニター会議、現地見学会への出席（旅費のみ支給）

応募資格…管内在住の成人

(ただし、国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長、常勤の国家公務員、令和元年度現在、国有林モニターである者を除く)

応募方法等…ホームページの専用申込フォームよりご応募ください。(郵便はがき、FAXも可)

※申込フォームについては、下のQRコードを読み込んでください



応募締切…令和二年一月二十四日(金) 必着

※応募者多数の場合は抽選

お問い合わせ先…企画調整課

国有林モニター担当

TEL…〇五〇上二一六〇上六五六三

FAX…〇二六上三三六上二六五七

その他…これまでの活動内容については、ホームページをご覧ください。

※活動内容については、下のQRコードを読み込んでください



国有林モニター現地視察で、丸太の集材・造材等の見学をしている様子。(写真)



編集長だより

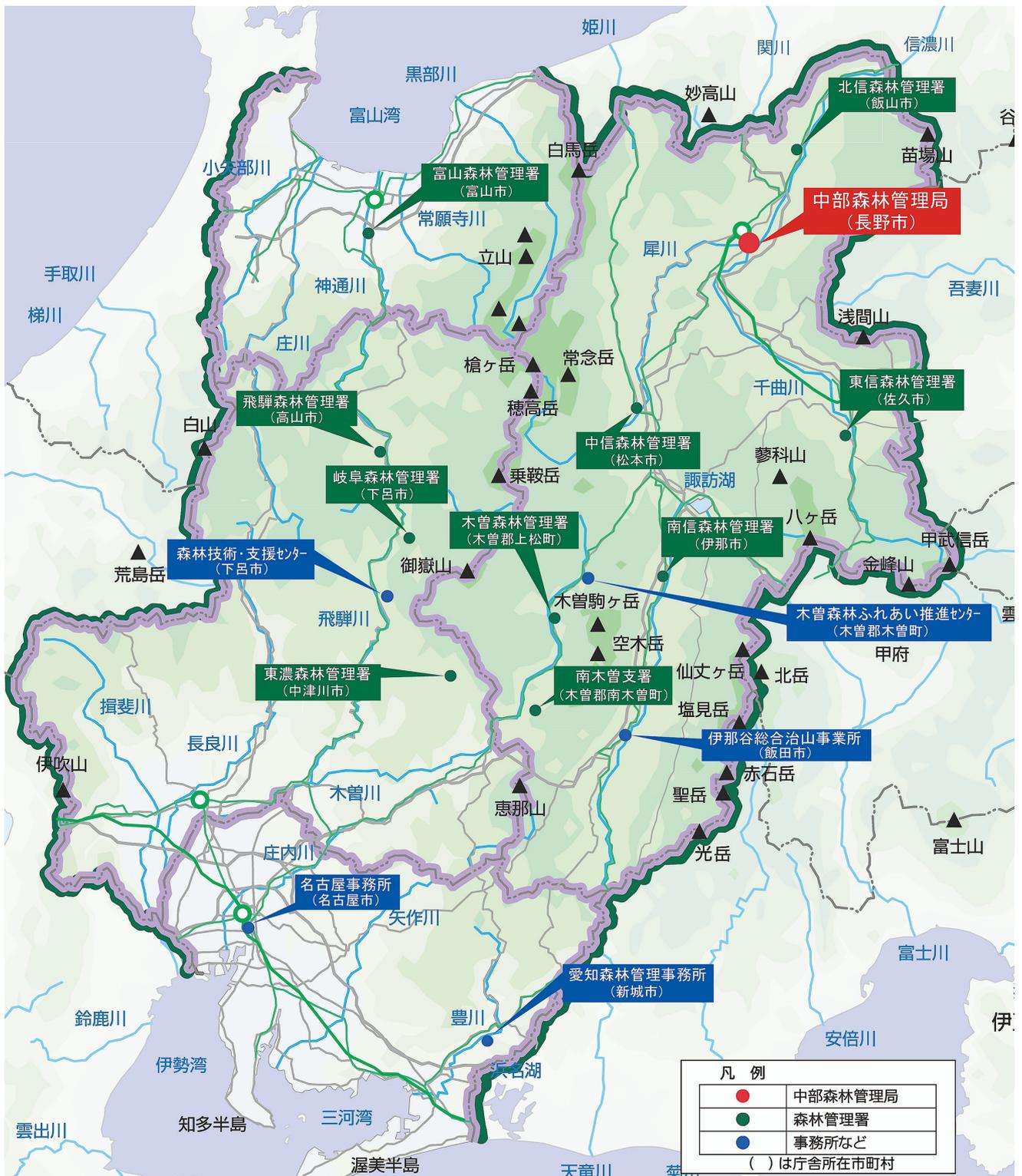
あなたのお気に入りの一枚!お待ち申し上げます!

いよいよウィンターシーズンを迎えましたが、今年は、暖冬で雪が降らず、オープン延期したスキー場が多くあります。

でも、いずれ、白銀の世界が広がり、スキーやスノボで、冬のファンタジーに心躍らせることでしょう。

また、スノーシューで、のんびりと銀世界を踏みしめると、静寂で凍った森は、自然の神秘です。あなたも、冬の感動を探しに森へ出かけませんか。

- ☆魅力イッパイ国有林などに関する写真投稿を随時募集しています。ステキな写真が撮れましたら migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)
- ※特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。ご投稿には、氏名またはニックネーム、整理番号(今月なら①～⑪のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。
- ☆森林でのお仕事紹介コーナーを見て、森林・林業業界へのご興味を持っていただけたら幸いです。進路検討中の皆様、お気軽に最終ページのお問い合わせ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149